

(県協働部署用) 協働事業評価・報告書

事業名	広域大規模災害に備えた平常時からの行政、社協、NPO 等の連携体制構築
団体名	災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ
県協働部署名	神奈川県NPO協働推進課
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 個別事業ごとの実施結果

事業 1	情報共有会議の枠組みづくりと県内の多様な主体とのネットワーク形成事業
(1) 実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・当課と認定NPO法人藤沢市民活動推進機構がオンラインで開催した「パートナーシップミーティング in 藤沢～災害に備えるまちミーティング～」(1月26日開催)において、「湘南地域の災害に備えた多様な主体間の連携に向けて」をテーマに設定し、企画運営について団体から協力を得て開催した。企業14名、NPO等25名、教育機関3名、行政1名の合計43名が参加した。団体からは講師1名、グループファシリテーター4名の計5名が参加した。 ・また、当課と認定NPO法人市民セクターよこはまがオンラインで開催した「スタディツアー～複雑化する社会課題を「協働」により解決するために～」(2月9日開催)において、団体がオンライン訪問先のひとつとなって1名が登壇し、協働で課題解決に取り組む実践事例として活動について説明した。 ・「防災」「災害支援」をテーマに、団体からパートナーシップミーティングやスタディツアーに協力を得ることで、参加した企業やNPO、大学等の多様な主体が「防災」「災害支援」における地域連携を考え、繋がるきっかけを作ることができた。 ・団体から講師として登壇していただくことで、「防災」「災害支援」について、参加した企業やNPO、大学等の多様な主体が団体の活動を知り、知見を得ることができた。
(2) 目標の達成状況	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 (100%) ※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。</p> <p>イ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。 県内の多様な主体とのネットワーク形成事業ということで、「パートナーシップミーティング in 藤沢」、「スタディツアー」を開催し、団体から講師として登壇していただくことで、参加した企業やNPO、大学等の多様な主体が団体の活動や知見を得ることができ、「防災」「災害支援」における地域連携を考え、繋がるきっかけとなったため。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策 <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップミーティングを県とともに主催する中間支援組織に、「防災」「災害支援」をテーマとし、団体の協力も得て開催することに同意していただく必要がある。また、「防災」「災害支援」に関心のある地域の企業やNPO、大学等へ周知し、参加者を集める必要がある。 ・中間支援組織に対し、当該協働事業の趣旨や意義を丁寧に説明し、「防災」「災害支援」における地域連携の重要性について理解していただくことが大切である。 </p>

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

- ・ 今年度は、「パートナーシップミーティング in 藤沢」及び「スタディツアー」において団体に登壇していただく等、協力いただいたが、県内の多様な主体のネットワークづくりをさらに進めるには、来年度以降は、他の地域でパートナーシップミーティングを主催する中間支援組織に、団体の協力を得て「防災」「災害支援」をテーマにする等、企画に取り入れて開催することに同意していただく必要がある。
- ・ また、パートナーシップミーティングやスタディツアーを主催する県と中間支援組織、企画運営に協力する団体の3者が、円滑な開催に向けてしっかり連携することが重要である。連絡を密にして3者が情報共有し、企画内容、進行の仕方等、協議を重ねて綿密に準備することが大切である。
- ・ 令和5年度は協働事業の最終年度であることから、協働事業終了後も確実に情報共有会議の体制をつくり、有事の際連携できる県内の多様な主体とのネットワークを維持し、さらに広げていけるよう、令和5年度末の協働事業終了時に団体と県が「協定」を締結するなど、形のあるゴールを決めて目指すことが必要である。

3 負担金事業終了後の貴課の考え方

- ・ 負担金事業終了後も、パートナーシップミーティングやスタディツアーにおいて、開催する地域の中間支援組織の意向も尊重しつつ、「防災」「災害支援」も企画に織り込む等、県内の多様な主体が、平時から協働・連携し、有事にも役立つネットワークの構築の一助としていきたい。

4 協働事業の評価 (はい・いいえ・どちらともいえない、に該当するものを残してください)

1 協働事業の成果		
(1)	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	事業の受益者の満足を得ることができたと思いますか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業の成果だと思うことがあれば記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・「パートナーシップミーティング in 藤沢」では、「湘南地域の災害に備えた多様な主体間の連携に向けて」をテーマに開催することで、藤沢市内やその周辺の「防災」「災害支援」に関心のある企業、NPO、大学等の多様な主体が参加し、災害における地域連携を考え、繋がるきっかけを作ることができた。 ・その後開催した「スタディツアー」にも、藤沢に参加した企業やNPOに複数参加していただいた。 ・「パートナーシップミーティング in 藤沢」「スタディツアー」とも団体の共同代表が講師の一人として登壇することで、災害支援について、参加した企業やNPO、大学等の多様な主体が団体の知見を得ることができた。 	
2 協働事業の協議の状況		
<企画段階>		
(1)	事業計画や目標の立て方について、県と団体とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	県と団体とは対等な立場で協議を行いましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
<実施段階>		
(3)	意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、県と団体とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(4)	相手方のフィールド(団体の事務所・活動現場)に足を運び、団体の置かれている状況や立場についての理解に努めましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(5)	必要な情報を団体と共有することができましたか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(6)	協議についての課題があると思われる場合は、記入してください。	

3 協働事業の役割分担		
(1)	団体との役割分担は適切でしたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。	
4 協働事業全体を通しての評価		
(1)	全体として、県と団体とは対等な立場で協働ができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業全体を通じて気づいた点があれば記入してください。	
5 社会的認知の獲得		
(1)	取り組んでいる事業や成果について社会的認知が広がったと思いますか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、どういう点で社会的認知が広がったと思うか理由を記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・団体の協力で開催した「パートナーシップミーティング in 藤沢」に参加された方が、そのあと当課が開催し、団体も訪問先のひとつとなり登壇した「スタディツアー」にも複数参加していただく等、県内の企業・NPO等に災害支援の意識が高まっていると感じた。 ・「スタディツアー」では、テーマの異なる3つの訪問先のうち、「防災」「災害支援」をテーマにした当該団体に関心を持って参加した方が最も多く、企業やNPO等の「防災」「災害支援」への関心の高さが伺えた。 	
6 新たなネットワークの獲得		
(1)	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力を団体と共に行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	(2)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
7 行政の施策等への影響		
(1)	協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識の変化や行政の施策等の改善のヒントにつながるようなことがありましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。	
8 費用対効果		
(1)	事業の効果から見て、要したコストは適切だと思いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。	